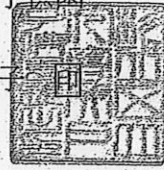


杉並区教育委員会 宛

子供園名 杉並区立下高井戸子供園

子供園長氏名 五十嵐 美緒子



令和6年度教育課程について (届)

このことについて、杉並区立子供園の管理運営に関する規則に基づき下記のとおり

お届けします。

記

1 教育目標

(1) 子供園の教育目標

“しあわせいっぱいの子供園”にするために、次の教育目標を掲げる。

もりもりそだつ げんきなからだ
たいせつな なかまとじぶん
かんじる ところとあたま

(2) 子供園の教育目標を達成するための基本方針

- ① 心も体も弾む体験を積み重ね、自ら体を動かして遊ぶことを楽しみ、健康で安全な生活を送ることができる幼児を育てる。
- ② 他の幼児とのかかわりを通して、自分とは異なる思いや考えがあることに気づき、互いに認め合い、受け入れ合おうとする幼児を育てる。
- ③ 身近な環境に自ら関わり、作って遊ぶことを繰り返しながら、知的好奇心や思考力の芽生えを培い、遊びの主体者として夢中になって遊ぶ幼児を育てる。
- ④ 仲間と協同して活動に取り組む経験を重ねる中で、様々な感情体験を通し、一人では味わえない達成感や課題を解決していこうとする意欲を育む。
- ⑤ 小学生との交流活動を中心に、小学校との連携を通して教諭同士が互いの教育の理解を深めることで、幼児が小学校生活への期待を高め小学校以降の生活や学習の基盤を培うようにする。

2 指導の重点

(1) 教育課程編成、実施に関わる指導の重点

- ① 3歳児
 - ・教師との信頼関係を基盤に、自分のしたい遊びを見付け、夢中になって遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
 - ・基本的な生活習慣を身に付け、一人ひとりの幼児が安心して過ごせるようにする。
- ② 4歳児
 - ・友達や教師と一緒に過ごす中で、感じたことや考えたことをのびのびと表現し、興味、関心を深めながら遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
- ③ 5歳児
 - ・友達とのつながりの中で、共通の目的をもち、考えを出し合ったり協力したりしながら、自分たちで遊びや生活を進める充実感、達成感を味わえるようにする。

(2) 環境の構成

- ① 幼児が自ら選んで環境に関わり、夢中になって遊ぶ楽しさを味わえるよう、保育室や園庭等の環境を常に見直し、幼児の実態を捉え、発達に応じたものとなるようにする。
- ② 幼児が思いや考えを表現したり他の考えを受け止めたりする機会を意図的に取り入れ、教師も含めた他者との対話的な関わりを十分に経験できるようにする。
- ③ 遊びや行事等、他者との共通体験を豊かなものにし、個々あるいは友達との遊びに生かされたり、学級全体の活動に展開したりする遊びの往還をすすめる。
- ④ 幼児一人ひとりが園および学級で大切な存在として、安定した心持ちで園生活を送ることができるよう、教職員が多面的に幼児理解を深め、組織的に幼児の育成を支える。

(3) 特に重点を置いて指導する内容等

- ① 安全教育
 - ・学校安全計画を基に、幼児の実態に応じた「生命(いのち)の安全教育」の取組を実践し、自分自身と周りの人の心身の健康と安全を守ろうとする気持ちの基礎を培う。
- ② 特別支援教育
 - ・園長が主催する園内委員会の実施を通して、幼児の具体的な姿から環境の在り方を見直し、全職員で共有して幼児が育ち合う学級づくりを推進する。特別支援教育コーディネーターを中心として、家庭や関係諸機関と連携し、幼児理解を深め、一人ひとりに応じた環境の工夫と援助を学級経営に生かす。
- ③ その他
 - ・幼児が基本的な生活習慣を確実に身に付けていくことができるよう、担任を中心として園全体で組織的に家庭との連携をすすめる。
 - ・長時間保育児が一日を通して安心して過ごせるよう、幼児の心情に寄り添った関わりや実態に応じた環境構成を工夫する。
 - ・行事の取組や教職員の学級事務、分掌の在り方等について働き方改革を推進しながら、幼児の遊びと生活の充実を図る。